

三重県志摩市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	年間入込客数【8.9】	2019年 4,187 千人	2021年 2,493 千人			2025年 4,750 千人	-301%
2	誘致または立地した企業数【8.9】	2019年 - 件	2021年 0 件			2025年 10 件	0%
3	御食国食文化の展開に係るプロジェクト数（累計）【8.9】	2019年 - 件	2021年 0 件			2025年 10 件	0%
4	ワーケーションで訪れた事業者数（累計）【8.9】	2019年 - 件	2021年 23 件			2025年 40 件	58%
5	新規就農者数（累計）【8.9】	2019年 - 人	2021年 4 人			2025年 15 人	27%
6	新規漁業就業者数（累計）【8.9】	2019年 4 人	2021年 14 人			2025年 50 人	22%
7	ユネスコ無形文化遺産・世界農業遺産等への登録数【11.4】	2019年 0 件	2021年 0 件			2030年 2 件	0%
8	小中学校の環境教育及び文化教育の体験的教育活動実施回数【12.8】	2019年 13 回	2021年 96 回			2030年 159 回	57%
9	清掃活動（クリーンアップ活動 森も里も川も海も）【14.1、15.5】	2019年 2 回	2021年 1 回			2030年 6 回	-25%
10	脱プラスチック・プラごみゼロに向けた取組数（累計）【14.1】	2019年 0 件	2021年 8 件			2025年 20 件	40%
11	藻場の適切な管理に連携して取り組んでいる地域数【14.2】	2019年 5 地区	2021年 13 地区			2025年 9 地区	200%
12	環境教育の土台作りを協働して行った団体等の数【14.2】	2019年 9 団体	2021年 28 団体			2025年 30 団体	90%
13	沿岸水産資源の資源評価対象種の漁獲量に占める割合【14.4】	2019年 28 %	2021年 40 %			2025年 60 %	38%

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度（%）
1	「豊かな海」を守り、取り戻す取組	環境教育の土台作りを協働して行った団体等の数	2019年 9 団体	2021年 28 団体			2023年 18 団体	211%
2	「豊かな海」を守り、取り戻す取組	藻場の適切な管理に連携して取り組んでいる地域数	2019年 5 地区	2021年 13 地区			2023年 7 地区	400%
3	「豊かな海」を守り、取り戻す取組	清掃活動（クリーンアップ活動 森も里も川も海も）	2019年 2 回	2021年 1 回			2023年 4 回	-50%
4	御食国を支えるプライドの醸成と後継者不足問題	ユネスコ無形文化遺産・世界農業遺産等への登録数	2019年 0 件	2021年 0 件			2023年 1 件	0%
5	御食国を支えるプライドの醸成と後継者不足問題	小中学校の環境教育及び文化教育の体験的教育活動実施回数	2019年 13 回	2021年 96 回			2023年 93 回	104%
6	御食国の食材を中心とする地域ブランディングの推進による観光地経営	市や県のブランド認定を受けた品数（累計）	2019年 27 品	2021年 31 品			2023年 37 品	40%
7	御食国の食材を中心とする地域ブランディングの推進による観光地経営	御食国食文化の展開に係るプロジェクト数（累計）	2019年 - 件	2021年 0 件			2023年 6 件	0%
8	志摩市版 SDGs 官民連携プラットフォーム（仮称）の設立	志摩市版 SDGs 官民連携プラットフォーム（仮称）登録数	2020年 0 件	2021年 94 件			2023年 100 件	94%

(3) SDGs 未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

<p>●指標「年間入込客数」については、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言、蔓延防止重点措置等の影響等により、目標値を大きく下回る結果となった。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、新しい生活様式の影響による変化した観光トレンドを察知し、アフターコロナを見据えた施策を実施していく必要がある。</p> <p>●指標「御食国食文化の展開に係るプロジェクト数（累計）」については、プロジェクト構築には至らなかったものの、御食国食文化を継承する人材育成を目的とした小学生への出前授業を実施したほか、令和3年11月に東北大学が開始した持続可能な食と職のマーケット醸成を目指すプロジェクトに参画し、今後の展開に向けて学校や企業と連携した。今後も引き続き本プロジェクトに参画し、食文化展開の取組を推進する。</p> <p>●指標「新規就農者数」については、農協や市が実施する農業塾などの卒業生が就農しており、目標値に向けて順調に推移している。指標「新規漁業就業者数」については、新規漁業就業者支援補助金や、地域おこし協力隊制度を活用した後継者育成等の事業を実施し、新規漁業就業者の増加を図っていく。</p> <p>●指標「清掃活動（クリーンアップ活動 森も里も川も海も）」については、清掃活動の実施回数は当初値を下回る結果となったが、海洋プラスチックごみのアップサイクルの仕組み構築を目指し、清掃活動だけでなく、実証実験として海洋ごみ専用ストッカーを漁港に設置するなど、新たな取組を展開した。</p> <p>●指標「藻場の適切な管理に連携して取り組んでいる地域数」については、活動に対し、市が支援を行ったこともあり、2021年時点での現状値が2030年の目標値を超える結果となっている。今後は、それぞれの漁場を守る取組として、漁業者自身が自主的に実施していくことを目指す。</p> <p>●指標「志摩市版 SDGs 官民連携プラットフォーム（仮称）登録数」については、志摩市版SDGs官民連携プラットフォームとして立ち上げた「シマシSDGsパートナーズ」は、SDGsの裾野を広げることが目的に宣言制度として開始した。市内外問わず登録可能としたこともあり、2022年3月末現在で2023年の目標値に対し94%の達成度となり、SDGsへの関心の高まりや取組の広がりが感じられる。</p>
--